

● 鉄鋼事業部門 ● 機械事業部門 ● 本社

## 鉄鋼事業部門

鞍鋼股份有限公司と中国における自動車用冷延ハイテン製造合弁会社に関する合弁契約締結

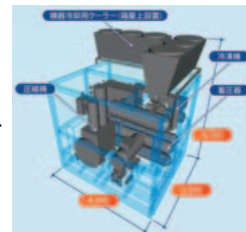


鞍鋼股份有限公司との調印式

## 機械事業部門

水素ステーション普及に向けたパッケージ型水素ステーションユニットの開発・販売開始

従来、水素ステーションは高圧水素圧縮機や冷却設備など主要機器を個別に設置するため、設置面積が大きくなる課題があり、普及には更なる省スペース化、仕様標準化による低コスト化が必要とされていました。そこで、当社は、実証水素ステーション向け納入・運用実績や機器選定ノウハウ、汎用圧縮機事業で培ったコンパクト設計の技術を融合させることで主要機器の一部の集約を実現し、従来比約20%の建設費コストダウンと従来比50%(当社比)の設置面積削減が可能となるパッケージ型水素ステーションユニット[HyAC mini]を開発し、販売を開始しました。当社グループでは、水素ステーション用主要機器だけでなく、超高压部材用素材の製造、燃料電池車に充填するための最適機器仕様選定シミュレーション技術の開発も行なっており、水素ステーション普及に向けハード・ソフトの両面でサポートすることが可能です。当社グループでは、こうした製品・技術を活かし、水素ステーションなどの普及・整備に貢献してまいります。



HyAC mini(イメージ図)

2013

(平成25年)

10月

11月

12月

2014

(平成26年)

1月

2月

3月

## 鉄鋼事業部門

加古川製鉄所 厚板加速冷却設備の改造を決定

新興国を中心とした世界的なエネルギー需要の増大、北米でのシェールガス革命などにより、石油やガスを生産・輸送する海洋構造物やパイプラインの市場は継続的に拡大していくと予想されています。海洋構造物やパイプラインでは、圧延後に高速で均一に冷却することで、強度と粘り強さ、良好な溶接性能を備えた厚板が必要とされ、より高機能な製品を製造するには、加速冷却装置が欠かせません。こうした状況から、当社は、より高機能の厚板生産を可能とするよう、厚板加速冷却設備を改造することを決定いたしました。工事期間は2014年7月～2015年3月までの予定です。今回の改造により、一層のエネルギー分野での拡販が可能となります。今後、造船・建材分野と並ぶ厚板事業の3本目の柱としてエネルギー分野での拡販に注力してまいります。



現状の厚板加速冷却設備

## 本社

真岡市での発電事業に関して、東京ガスと基本合意

当社グループでは、安定収益基盤として、これまで電力卸供給事業などで培ったノウハウを活かした「電力供給事業の拡大」を掲げています。その一環として、現在、栃木県真岡市において高効率のガス火力発電所の建設を目指し、2013年3月から環境アセスメントの手続きを開始していますが、このたび、この発電所で発電した電力全量を東京ガス株式会社に販売することで基本合意に達しました。電力売買契約に向けて、両社で協議を進め、2014年9月末までに契約を締結する予定です。計画では、当社のアルミ板製造拠点である真岡製造所に隣接する真岡第5工業団地内に、合計120万kW(発電機2基)の高効率ガス火力発電所を建設する予定で、早ければ2016年半ばにも着工、1号機は2019年後半、2号機は2020年前半の稼働を目指しています。

当社ホームページではこのほかにも、様々なトピックスをご紹介します。  
<http://www.kobelco.jp>